

(2) スポーツ振興のための基金の設置

ふくしま国体に向けて県民のスポーツへの関心は一層高まりをみせており、スポーツ人口の今後ますますの増大が予想されることから、県民の多様なスポーツ欲求への的確な対応が求められています。

したがって、本県スポーツの普及・振興をなお一層推進するため、スポーツ振興のための基金を設置し、県民の多様なスポーツ欲求に対応する各種の事業やスポーツの国際交流を推進する必要があります。

2 生涯スポーツの充実

(1) 生涯スポーツ関係団体の育成

県民の多くは自由時間を有効に活用し健康な生活を送るため、多岐にわたるスポーツ・レクリエーション活動に親しんでいます。これを推進する団体の組織は十分とはいえ、統括する組織も充実していない現状にあります。

したがって、スポーツ・レクリエーションに対する県民の多様な欲求に応えるため、各種団体の組織の整備を促進するとともに、これらの団体を統括する福島県レクリエーション協会等の育成・強化に努める必要があります。

(2) 指導者の養成・確保と充実

県においては、県内の体育指導委員や職域における指導者の資質の向上を図るため、巡回スポーツ指導事業を開催するとともに、県体育指導委員研究大会や女性体育指導委員実技講習会を支援し、地域や職域における指導者の資質の向上に努めています。

また、財団法人日本体育協会公認の競技力向上指導者やスポーツ指導員、レクリエーション指導者等からなる福島県スポーツリーダーバンク制度を発足させ、指導者の活用促進に努めています（表2-1）。

さらに、県レクリエーション協会や県スポーツ少年団本部がそれぞれ独自に指導者の養成講習会を開催するとともに、財団法人福島県体育協会においてもスポーツ指導員養成講習会を開

表2-1 福島県スポーツリーダーバンク登録指導者数

種 目 等	人数	種 目 等	人数
スポーツドクター	13	銃 剣 道	33
学 識 経 験 者	22	ク レ ー	2
スポーツトレーナー	4	ヨ ッ ト	10
競 技 関 係	726	空 手 道	7
陸 上 競 技	14	ア ー チェリー	4
野 球	2	な ぎ な た	5
軟 式 野 球	9	アイスホッケー	3
テ ニ ス	36	ボ ウ リ ン グ	2
サ ッ カ ー	39	カ ヌ ー	2
ハ ン ド ボ ール	4	ゲ ー ト ボ ール	35
卓 球	10	少 林 寺 拳 法	3
剣 道	19	ト ラ ン ポ リ ン	11
漕 艇	2	ボ デ ィ ビ ル	1
水 泳	45	レクリエーション関係	311
ホ ッ ケ ー	1	レクリエーション	124
相 撲	5	サイクリング	10
ライフル射撃	3	ダ ン ス	37
バスケットボール	4	オリエンテーリング	27
バドミントン	18	ユースホステル	7
ボクシング	1	キ ャ ン プ	14
柔 道	27	グラウンドゴルフ	22
弓 道	41	綱 引 き	5
ラ ク ビ ー	3	バウンドテニス	58
体 操	12	スカイ・マリンスポーツ	6
ス キ ー	240	な わ と び	1
ス ケ ー ト	7	健康・体づくり関係	14
馬 術	16	スポーツプログラマー	3
ソフトボール	10	トレーニング指導士	3
バレーボール	22	体力テスト指導員	8
ウェイトリフティング	4	ス ポ ー ツ 少 年 団	15
レスリング	2	スポーツ少年団育成指導員	15
フェンシング	4		
山 岳	8	合 計	1,105

(資料) 「福島県スポーツリーダーバンク登録指導者名簿」

(平成4年3月)